

去年菌打ちした平茸の株から平茸が・・・

なんと忘れたところに、またまた生えてきたんです(^▽^)/  
丁寧に株から収穫しバター炒めにしたり、シチューに入れて  
美味しく頂きました。



ようけなってたやん！  
「どうして食べようか？」

大きいのが沢山！



丁寧に採って  
「バター炒めが美味しいわ」



# ゆめとま便り No.64



2021年12月

社会福祉法人近江ちいろば会  
ゆめとまの家おしどり

〒520-3244

湖南市サイドタウン

3丁目8-33

TEL: 0748-74-8880

FAX: 0748-74-8881

「手貸すで一」「手伝おかー」この言葉はゆめとまでよく耳にする言葉です。

たくさんの方が集えば、色々な手があります。「大きな手」「小さな手」「いつも温かい手」「料理の上手な手」「力作業が得意な手」・・・。

また、手は「モノを掴む役割」「ご飯を食べる役割」「作業をする」「温もりを感じる」など大切な役割を果たしているのではないのでしょうか。

『三人寄れば、文殊の知恵』といいますが、10人以上集まると、それぞれの得意なことを発揮し合い、苦手なところを手伝い合い、自然と笑顔もあふれ、心もいきいきとします。

ちなみに『手伝う』の意味は人の仕事を助けて一緒に働くという意味があるとのこと。まさに、「手」を「つたって」助け合うということでしょうか。今回のゆめとま便りでも様々な手が登場し、いきいきとした空間を彩っています。

コロナ禍で、距離があり、実際に手を取り合うことは難しいですが、人と人とのつながりを大切に手を取り合って、『ゆめとまの家』という空間でいきいきとした暮らしを過ごしていけたらと思います。





さつま芋のツルむき



炊き込みご飯を  
美味しそうに盛り付け



お米とぎ



ハンバーグ作り



大根おろし

今年は沢山の料理を作りました。  
 毎日料理をされている方、今は料理してないと言われる方も、各々出来る事を協力し合い賑やかに作っている間に笑顔が増え、会話も弾んでイキイキと過ごす事が出来ました。  
 また、畑で採れた新鮮野菜で「あれ作ろう！」「次はこれ作ろう！」と皆で相談する楽しみも沢山感じる事が出来ました。  
 新しい年も美味しい物を作る楽しみ、そして食べる楽しみを皆で感じながら、笑いの絶えない、いつも明るい『ゆめとま』にしていきたいと思ひます。  
 皆様の笑顔がいつまでもいきいきし続けますように・・・  
**2022年も どうぞ宜しくお願い致します。**